



門柱灯 HK-2S型

取扱説明書

保管用

お客様へ

お買い上げありがとうございます。

■ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと必ず保管し必要なときにお読みください。

■施工には電気工事士の資格が必要です。必ず、工事店・電器店に依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

- 異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常が収まったことを確認し、販売店にご相談ください。



必ず守る

- ランプは器具表示のものを使用する
間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災のおそれがあります。



必ず守る

- 器具を改造したり部品交換をしない
火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。



分解禁止

注意

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

●1年に1回は自主点検してください。



必ず守る

- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。



接触禁止

- ランプ交換・お手入れの際は、壁スイッチをオフにする
通電状態で行うと感電の原因となることがあります。

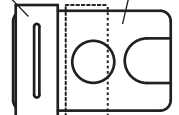


必ず守る

使用上のご注意

- 点灯直後約10分間は、明るさや光色が若干変化します。
- 周囲温度が変わると、明るさや光色が若干変化します。
- 器具が点滅を繰り返す場合
天井、壁面の仕上げなどにより反射光が強く器具が点滅を繰り返す場合は、明るさセンサのマスクを中央より少しずつスライドさせ、反射光の光を調整します。
注) マスクを中央までスライドさせると明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなります。

マスク 明るさセンサ



ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行なってください。

- ランプが黒化して明るさが低下したり、消灯や点滅を繰り返すとランプの寿命です。
ナショナル製ランプをお求めください。
- ランプの種類は器具に表示しています。
- 白熱ランプは使用できません。
- ランプの交換方法は裏面の「各部のなまえと取り付けかた」の手順 **4**、**5** を参照してください。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行なってください。

- ・明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃、点検してください。
汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふきとり、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
- ・シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色・破損の原因となります

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	10W	D15形パルックボールスパイラル蛍光灯（E26）

この紙は再生紙を使用しています。

Z228_200603A

施工説明

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

■ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行う

取り付けに不備があると、
火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

■ 接地工事は、電気設備の技術基準に従い確実に行う

接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。

■ タイル面など取付面に凹凸がある場合はすき間を埋める

本体パッキンと取付面とのすき間を防水シール剤などで
埋めてください。
防水が不完全な場合、火災・感電のおそれがあります。

■ 指定以外の場所に取り付けけない

火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。



- 天井面・壁面
- 浴室などの湿気の多い場所
- 補強のない薄い場所（ベニヤ板や石膏ボードなど）
- 取付面が取付板より小さい場所

●この器具は防雨型、据置き取付専用です。

■ 交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

注意

■ 調光器と組み合わせて使用しない

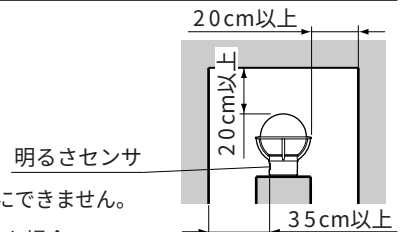
調光機能が付いた壁スイッチなどの調光器と組み合わせて
使用すると火災の原因になることがあります。
●調光器の取り外しが必要です。

■ 温度の高くなるものの近くに取り付けけない

ガス機器やその排気筒の近くに取り付けけないでください。
火災の原因となる場合があります。

取付場所について

- 次の様な場所に取り付けると、明るさセンサ誤動作の原因となります。
 - ・昼間でも暗い場所・・・明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなることがあります。
 - ・夜間でも明るい場所・・・点滅したり、点灯しないことがあります。
 - ・車のヘッドライトや他の照明の光が明るさセンサに直接あたる場所・・・点滅することがあります。
- 明るさセンサに自然光が入りやすい向きに器具を取り付けてください。
- 器具天面・側面から20cm以上、明るさセンサから35cm以上障害物からはなして取り付けてください。
（障害物があるとランプ交換できなくなります）
- 壁スイッチを設けることをおすすめします。壁スイッチを設けないとランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできません。



各部のなまえと取り付けかた

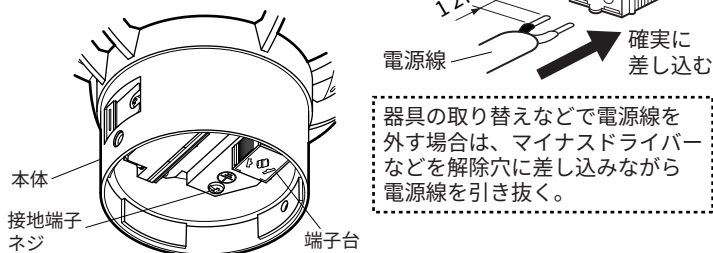
注意

取り付けが不完全な場合、
落下によるけがの原因となる場合があります。

- 1 付属の木ネジ(2本)で
取付板を取り付ける ・取付ピッチ 66.7mm

- 2 端子台に電源線を接続する

- ・適合電線VVF φ1.6、φ2.0単線
- ・接地端子ネジから、D種（第3種）
接地工事を行ってください。



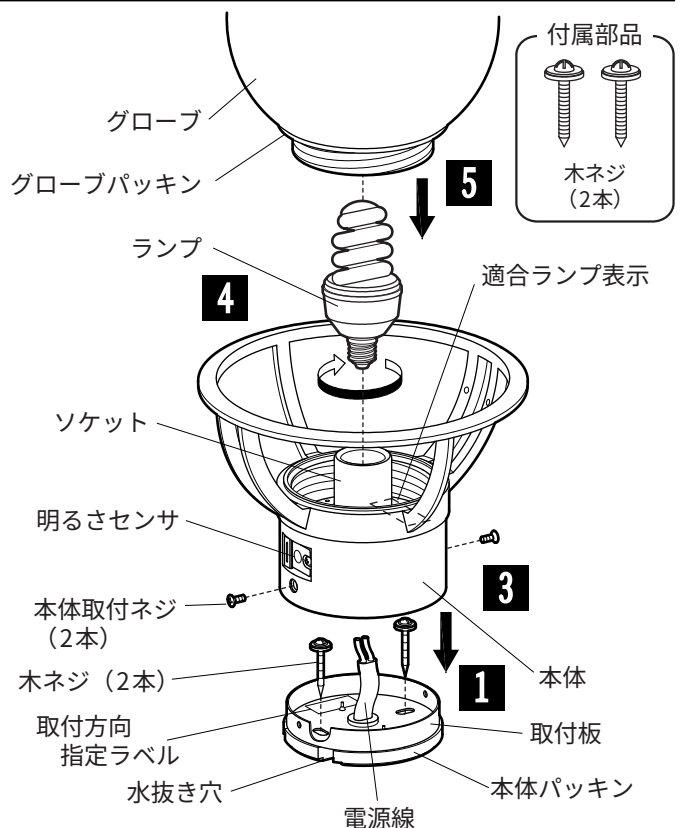
- 3 本体取付ネジ(2本)で
本体を取り付ける

電源線のかみ込みにご注意ください。感電や漏電の原因となります。

- 4 ランプを取り付ける

- 5 グローブを取り付ける

●グローブパッキンが取り付けられていることを確認してからグローブを取り付ける。



取説コード

Z228

200603A_1009